

夜間工事について

すでに鉄道高架化通信第21号でお知らせしていますが、軌道・電気等の工事のため夜間工事を行っています。夜間工事は必要最低限としていますが、工事の性質上やむを得ない場合は夜間工事となります。近隣の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

<夜間工事による施工>

- 鉄道運行のため、現在の線路に近接した箇所において、鉄道の営業運転中には実施できない工事を行う場合
- 昼間の歩行者や自転車の踏切通行を確保するため、工事による踏切の長時間遮断が可能な夜間に通行止めを行う場合

<レール搬入・移動>

モーターカー等が現在線を使用して、レールを運搬します。



モーターカー

<仮踏切工事>

現在の踏切部で、仮踏切部分に、軌道ブロックを設置します。



軌道ブロック敷設

<現在線近接工事>

現在線に近接した場所で、構造物の設置・撤去、電柱の設置、電線の架設、通信線の埋設等を行います。



電柱基礎整備



電柱整備



レール運搬



仮踏切工事



電気施設整備



電線防護

ちょっと途中下車

三河知立駅が移設されます(令和5年度予定)

名鉄三河線三河知立駅は、大正4年に旧三河鉄道(現名鉄三河線の前身)が刈谷から知立まで開通した時に、初代知立駅として開業しました。大正12年に旧愛知電気鉄道(現名鉄名古屋本線の前身)が開業し、新知立駅を初代知立駅の南西側に開設すると、知立駅は2つの鉄道路線の結節点として大変賑わうことになりました。

その後、合併により名古屋鉄道となり、昭和34年に知立駅が現在の場所に移転した後は、三河線の知立駅を三河知立駅に、名古屋本線の知立駅を東知立駅に改称し、知立市の玄関口は新駅へと移りました。東知立駅は昭和43年に廃止となったものの、三河知立駅は開業当時の知立駅の面影を残したまま現在まで存続してきました。

三河知立駅はこのような経緯から、知立駅に近いところに所在し、主要駅であったことから駅構内には留置線が存在するなど比較的規模の大きな駅になっています。また、三河線(山線)の起点(ゼロキロポスト)は、三河知立駅に設定されています。

三河知立駅は知立駅付近連続立体交差事業の施行に伴い、事業費削減、駅配置バランス向上、知立市北部地域のまちづくり等を総合的に勘案して、三河八橋駅方の高架化区間外となる知立市立竜北中学校付近へ約900m移設し、相対式ホーム2面2線で整備される予定です。また、知立駅～三河知立駅間は複線で整備される予定です。



昭和23年の知立駅周辺



愛知電気鉄道新知立駅

※作成協力：知立市都市開発課、豊田市近代の産業と暮らし発見館(企画展開業100年三河線学母駅)
※出典：国土地理院地図・空中写真閲覧サービス(市にて一部加工)
三河知立名勝三弘法旧跡絵はがき(知立市歴史民俗資料館所蔵)

事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

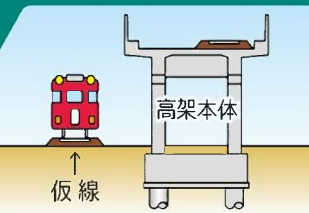
④ 仮線工事

令和3年7月着手

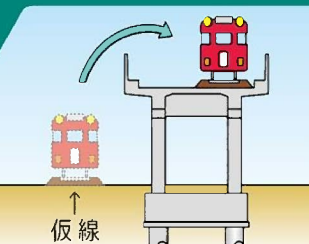
⑤ 仮線への切替



⑥ 高架本体工事開始

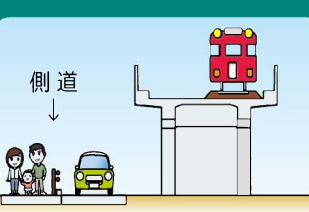


⑦ 高架本体への切替



⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了



令和9年3月(予定)

問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651(直通)
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp